

道徳学習指導略案

1年3組 26名 指導者 京田 憲子

- 見つめる活動において、身近にいる上級生の姿からなりたい自分を想像することで、自分の体験と関連付け、よりよく生きたいという願いをもつことができたか。
- 問い直す活動において、役割演技をすることで、道徳的価値に対する感じ方や考え方を広げ、深めることができたか。

1 主 題 名 しんせつってきもちいい (資料名「はしの上のおおかみ」〈読み物一学研〉)

2 ね ら い

いじわるやわがママをしないで、身近にいる弱い人に親切にしようとする心情を育てる。

(2-②) 思いやり・親切

3 展開に当たって

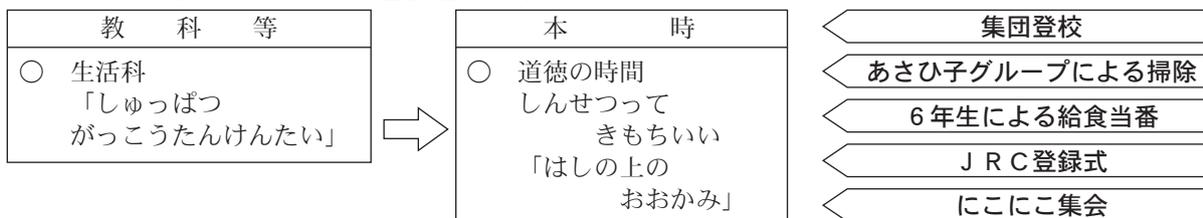
見つめる活動では、小学校に入学し、上級生に親切にされた体験やそのときの気持ちについて話し合わせる。その際、事前の活動の写真を提示し、体験を想起することができるようにする。その後、上級生のようにになりたいという憧れをもたせながら、「もっと人に優しくするには、どのような気持ちがあればよいだろう。」という共通の問題意識を練り上げることができるようにする。

問い直す活動では、まず、森の中にいるような雰囲気を作る背景画を作成することで、おおかみの心情に共感し、思いやり・親切についての意義を広く捉えることができるようにする。次に発達の段階を考慮し、視覚に訴えることのできるペープサートを使い、話を読み進めながら発問をしていく。更に中心発問では、おおかみの心情を色で表す活動を取り入れ、自分の道徳的価値に対する感じ方や考え方を明確にした後、役割演技を行う。

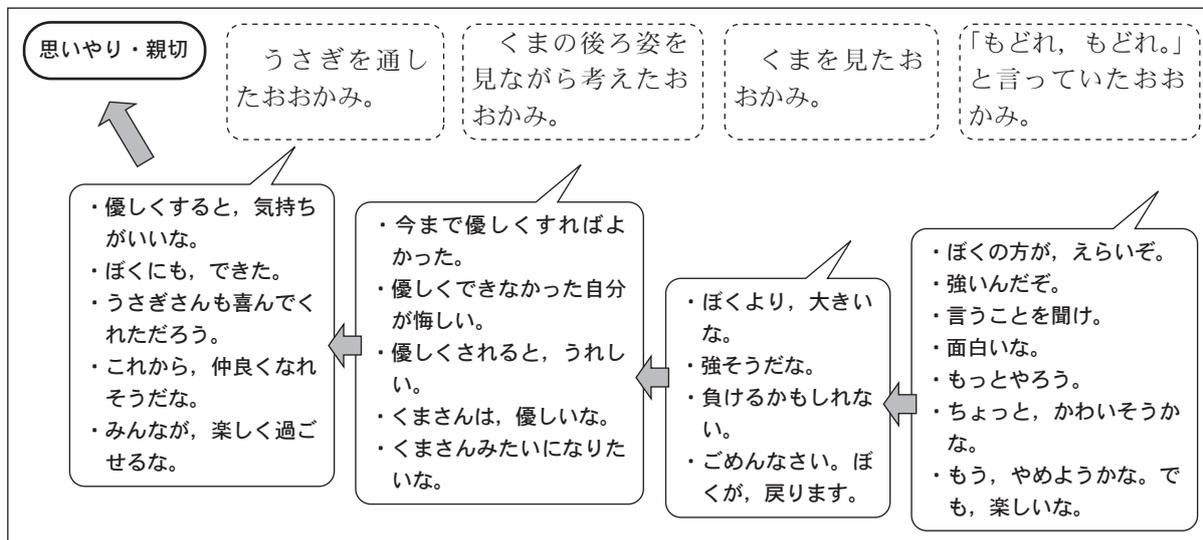
振り返る活動では、実態アンケートを手元に置くことで、今までお年寄りや自分より幼い子どもに優しくできた体験や優しくできなかった体験、そのときの気持ちについて想起することができるようにする。

あたためる活動では、人に優しくしている絵本などの挿絵を視聴覚機器を使って提示することで、親切にする行為の素晴らしさを紹介し、実践意欲を高めることができるようにする。

4 他教育活動や環境、地域社会との関連



5 資料分析



時	主な学習活動と教師の手立て・評価	
(分) ↑ 5 ↓	<p>【見つめる活動】</p> <p>1 上級生に優しくされた体験について話し合う。</p> <p>・学校案内のとき、手をつないでくれたな。 ・転んだとき、保健室へ連れて行ってくれたよ。</p> <p>もっとひとにやさしくするには、どのようなきもちがあればよいだろう。</p>	<p>⑤ 事前の活動の写真</p> <p>上級生に優しくされた体験を想起することで、もっとこうなりたいという自分の姿を想像し、問題意識を高めることができるようにする。</p> <p>めあてを全員で一読することで、問題意識を高めることができるようにする。</p>
↑ 27 ↓	<p>【問い直す活動】</p> <p>2 資料「はしの上のおおかみ」のペープサートを聞き、おおかみの気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) 「もどれ、もどれ。」と言っているとき、おおかみは、どのような気持ちだっただろう。</p> <p>・ぼくの方が、えらいぞ。 ・ぼくは、強いんだぞ。 ・言うことを聞け。 ・面白いな。 ・ちょっと、かわいそうかな。</p> <p>(2) くまを見たとき、おおかみはどのようなことを考えただろう。</p> <p>・ぼくより、大きいな。 ・強そうだな。 ・負けるかもしれない。</p> <p>(3) くまの後ろ姿を見ながら、おおかみはどのようなことを考えていただろう。</p> <p>ア 今まで優しくすればよかった。 ア 優しくできなかった自分が悔しい。 ア 優しくされると、うれしいな。 ア くまさんみたいになりたいな。 イ くまさんは、優しいな。 ウ くまさんたちと仲良くなれそうだ。</p> <p>(4) うさぎを下ろしたとき、おおかみはどのような気持ちになっただろう。</p> <p>・優しくすると、気持ちがいいな。 ・仲良くなれそうだな。 ・ぼくにも、できた。 ・うさぎさんも喜んでいる。 ・みんなが楽しく過ごせるな。</p>	<p>⑤ ペープサート、森の絵、一本橋の絵</p> <p>話を読み進めながら発問をすることで、おおかみの心情により共感できるようにする。その際、おおかみだけではなくまわりの動物たちの表情にも注目することができるようにする。</p> <p>子どもがおおかみの心情を色で表したものを基に発問を工夫していくことで、道徳的価値に対する感じ方や考え方を明確にできるようにする。</p> <p>※ 中心発問に対する考え方を机間指導において次の視点で評価する。</p> <p>ア 自分の気持ちを中心にした考え方 イ 他人への思いを中心にした考え方 ウ 集団・社会への思いを中心にした考え方</p> <p>くまに抱き上げられた場面の役割演技を通して、親切にされたときのおおかみの心情を共感的に捉えることができるようにする。</p> <p>おおかみとうさぎの関係を押さえることで、ややもすると自分より力が弱く自分の言うことを聞くような相手に対しても優しく接することの大切さに気付くことができるようにする。</p> <p>今までの体験を振り返ることができるようにするために、発達の段階を考慮し、保護者の協力を得て家庭でも実態アンケートを行う。</p>
↑ 8 ↓	<p>【振り返る活動】</p> <p>3 お年寄りや自分より幼い子どもに優しくできた体験や優しくできなかった体験を振り返る。</p> <p>・泣いている小さい子に、声を掛けることができました。それは、その子が心配だったからです。</p>	<p>絵本などで優しく接している挿絵を紹介することにより、具体的な親切の行為を知り、実践意欲へと結び付けることができるようにする。その際、BGMを流すことにより、より心に響くようにする。</p>
↑ 5 ↓	<p>【あたためる活動】</p> <p>4 相手に優しく接している絵本の挿絵を視聴覚機器を使って提示する。</p>	